

地震だ！津波だ！ すぐに高台へ逃げろ！



マップ上で色が付いている部分は、標高を示しています。日頃から高い場所を確認して、いざという時に備えましょう。

鋸南町津波ハザードマップ

お問合せ先：鋸南町総務企画課 電話0470-55-4801

この津波ハザードマップには、元禄地震による津波浸水想定区域と津波警報レベル10mを想定した津波浸水想定区域を表示しています。沿岸近くで大きな揺れを感じた場合や、町内に津波注意報や津波警報が発表された場合は、すぐに高台や避難所に避難し、自らの安全を守る行動をしてください。また、沿岸部の標高は色分しているため、ハザードマップは常に見えるところに貼り、日頃から自宅周辺の高い場所や低い場所を確認し、家族や地域で共有するようにしましょう。なお、ハザードマップに示された範囲以外でも浸水が発生する恐れがありますので、注意して下さい。

津波浸水想定区域

元禄地震による津波浸水想定区域（青ライン）

1703年に発生した元禄地震はマグニチュード8級の大地震で、大規模な津波が発生したとされており、今後、同程度の地震が発生した場合、最大で4.5mの高さの津波が予想されています。

津波警報レベル10mの津波浸水想定区域（赤ライン）

県では、平成25年から運用されている新しい津波警報レベル（10m）に合わせた浸水予測を公表しています。

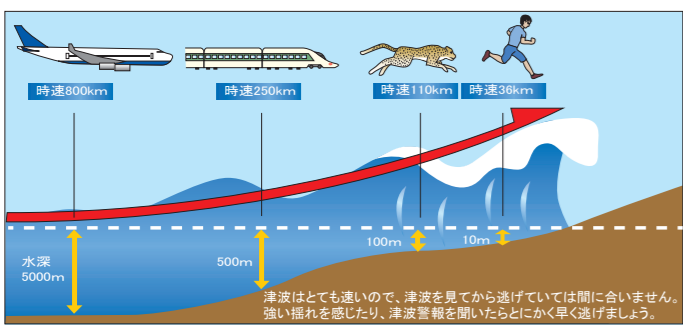
※津波警報10mの浸水想定では、津波到達時間の公表はされていません

元禄地震による津波の目安

代表点名	津波到達時間（第一波）	津波高（最大）
元名・平島	8.3分	3.9m
本郷浜	7.9分	4.5m
吉浜	7.7分	4.2m
亀ヶ崎	6.3分	3.4m
勝山	5.8分（鋸南町で最も早い）	3.1m
西ヶ崎	6.8分	3.4m

津波の特徴

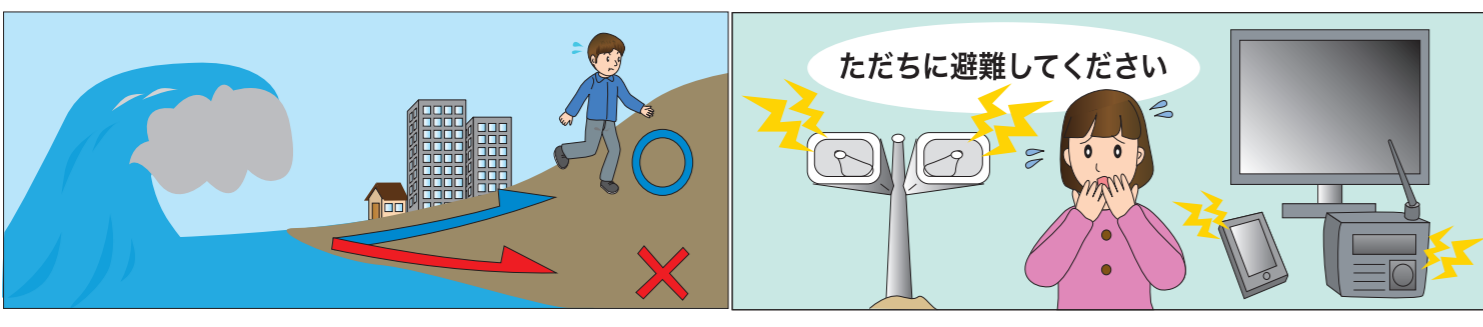
津波は地震等で海水が上下に変動することで引き起こされ、海水そのものが塊となって動くため、通常の波に比べてすさまじい破壊力を持っています。



- 津波は海底が浅くなるにつれて、スピードは遅くなりますが、波の高さは高くなります。
- 津波は繰り返し襲ってくるため、避難を続けるようにしましょう。

津波から命を守るために

- 自らの命は自ら守る
津波から命を守るためには、海の近くで地震があったらすぐに避難することが大原則です。
- 津波避難の注意点
 - ・より高いところを目指して逃げる！
 - ・津波警報を見たり聞いたりしたら直ちに逃げる！（津波警報が発表された場合は、津波の到来が切迫した状態です。）



津波警報・注意報の分類と取るべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超（10m<高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所に避難する 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで、安全な場所から離れないでください	木造家屋が全壊・流失 人は津波による流れに巻き込まれる
	10m（5m<高さ≤10m）			
津波警報	5m（3m<高さ≤5m）	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう	標高の低い所では津波が襲い、浸水被害が発生する 人は津波による流れに巻き込まれる
	3m（1m<高さ≤3m）			
津波注意報	1m（20cm≤高さ≤1m）	表記しない	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れる 津波注意報が解除されるまで、海に入った付近に近づかない	海の中では人は速い流れに巻き込まれる 養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆する

気象庁資料を編集

凡例

- 津波警報レベル10mの津波浸水想定区域
- 元禄地震による津波浸水想定区域
- 指定避難所(兼 指定緊急避難場所)
- 指定緊急避難場所
- その他の避難所
- その他の避難場所
- 鋸南町役場
- 医療機関
- 第一次緊急輸送道路(県指定)
- 第二次緊急輸送道路(県指定)
- 鋸南町指定緊急輸送道路

標高

- ～2m
- ～4m
- ～6m
- ～8m
- ～10m
- ～12m
- ～14m
- ～16m
- 16m以上